

講義科目名称： 情報社会B

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	
前期	1	2	-
担当教員			
園田 博文、箕浦 尚美、川乗 賀也、石牧 良浩、松田 正久			
	講義	開講区分：毎週	ナンバリングコード： COM1B080065
添付ファイル			

授業のテーマ	Society5.0 と関連させ、これからの社会に必要とされるデータサイエンスや数理的思考の基礎を学ぶ。		
ディプロマポリシーと当該授業科目の関連	① 教養的知識 ④ 問題解決力 ⑦ 総合力		
学修の目的 (purpose)	インターネット等のデジタル情報を利用する上で必要な知識、対処方法、及び、情報倫理を学ぶことを目的とする。また、さまざまなタイプの情報を適切に理解するために、数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶことを目的とする。		
学修の到達目標 (goals)	情報端末やインターネットの存在が社会に及ぼす影響について考察し、インターネット上の様々な情報に対する倫理観の重要性について認識することができる。データを適切に読解・利用するための基礎的な数理的思考を身に付けることができる。		
学修内容 (授業概要)	情報社会の今後 (AI活用社会) を見据え、ビッグデータやAI (人工知能) を適切に理解して利用するために、データサイエンスや数理的思考の基礎を学ぶ。これらの知識や技能は、文系理系を問わず、身につけておくべきもので、数理・データサイエンス・AIを日常生活、仕事の場で使いこなすための基礎的素養となるものである。一教員が2~3コマ担当のオムニバス方式情報社会の今後 (AI活用社会) を見据え、ビッグデータやAI (人工知能) を適切に理解して利用するために、データサイエンスや数理的思考の基礎を学ぶ。これらの知識や技能は、文系理系を問わず、身につけておくべきもので、数理・データサイエンス・AIを日常生活、仕事の場で使いこなすための基礎的素養となるものである。一教員が2~3コマ担当のオムニバス方式の授業である。特別講師の授業では企業の実際のデータを利用した分析を実践する。		
学修内容 (授業計画)	第1回 はじめに：なぜこの科目を行うか？ 松田 第2回 社会におけるデータ・AIについて1 世論調査とデータ(基礎1) 松田 第3回 社会におけるデータ：グラフや表の見方 川乗 第4回 社会におけるデータ：言えることを文章化する 川乗 第5回 データリテラシー2 心理学と統計1(応用1) 石牧 第6回 データリテラシー3 心理学と統計2(応用2) 石牧 第7回 データリテラシー4 心理学と統計3(応用3) 石牧 第8回 社会におけるデータ・AIについて2 推計する力(基礎2) 松田 第9回 データリテラシー1 統計は面白い(基礎3) 松田(特別講師の授業) 第10回 文章や画像の利用と著作権1 箕浦 第11回 文章や画像の利用と著作権2 箕浦 第12回 データを使ったグループディスカッション 川乗 第13回 データをまとめて報告する 川乗 第14回 国語学と情報社会 (国立国語研究所のコーパス、国語に関する世論調査〈文化庁〉、国立国会図書館) 園田 第15回 まとめと試験 松田		
事前学修・事後学修の具体的な内容および所要時間	事前学修「テーマについて自分なりに調べる。与えられた課題に取り組む。(90分)」 事後学修「授業内容を復習し、実際にパソコン等を使って確認する。(90分)」		
授業の特徴	複数教員による講義。コンピューターを使用。授業中、Teams等を用いた双方向のやり取りを行います。		
成績評価方法・基準	第15回目に行う授業内試験によって評価する。		
課題に対するフィードバック方法	口頭または書面		
テキスト (必携)	授業時に指示		
参考文献/その他	担当教員によっては授業時に指示する		
担当教員の実務経験			
履修上の注意	授業内でPCを使用することがある。使用する際は都度指示する。自身のPCを持参できない場合には、事務部(学務)の貸し出し用PCを持参のこと		
資格	学芸員課程		

